Key words 多職種連携，研修会，情報交換

宮城県石巻地域の CDEJ による多職種医療連携の取り組み
～薬剤師のための糖尿病療養指導研修会を開催して～

医療法人啓仁会　石巻ロイヤル病院　薬剤科薬局長　**松本　健司**

石巻地区糖尿病を考える会について

2006 年 12 月に宮城県の石巻・女川地域の CDEJ が中心となり「石巻地区糖尿病を考える会」を発足させました．地域全体で糖尿病療養指導を考える場として，また職種や病院の枠を超えた情報交換や研修の場として，3 ～ 4 カ月に一度の割合で集まり，現在も継続して活動しています．現在の会員数は，南三陸地域の会員も含め 11 名です．

当初は情報交換のみの会合で終わっていましたが，その後，2009 年から我々 CDEJ からの情報発信として各施設の患者・医療スタッフ向け情報紙を 4 ～ 5 カ月に一回のペースで2年に渡り発行しました．また，会の中では自己研鑽のためにそれぞれの専門職の症例報告等も行われました．それぞれの会員は，皆さん真面目で熱心に糖尿病療養指導に熱く情熱を注ぐ会員ばかりで，顔の見える交流が実践でき，当時の私のような CDEJ が1名しかいない病院で活動している会員にとっては大切な心のよりどころとなる会になりました．

研修会風景

多職種交流・医療連携を目指す

2010 年末から理学療法士 1 名が参加し，より一層多職種参加型の充実した会になりました．その頃に石巻市で開催された石巻地区地域医療対策委員会の研修会に参加したメンバーから，会に所属しているメンバーの施設以外の医療スタッフの方との交流も積極的に始めようという提案が出され，まず市の保健師さんを会にお招きして情報交換をしました．その後，行政とのつながりができ，2013 年に石巻保健所が行った生活習慣病重症化予防に係る意見交換会に各職種の会員が出席し，糖尿病の患者指導に関して意見交換を行いました．その後も一部の会員は継続して参加し，連携は続いています．

「薬剤師のための糖尿病療養指導研修会」の開催

震災による半年近くの活動停止を経て，次は保険薬局の薬剤師さんたちと交流をすることを目標にしました．石巻薬剤師会，宮城県病院薬剤師会石巻気仙沼ブロックの協力を得て，2012 年 6 月 13 日に「薬剤師のための糖尿病療養指導研修会」を石巻ロイヤル病院会議室にて実施致しました．2013 年 2 月 16 日に第 2 回を，本年 3 月 29 日に第 3 回を開催し，薬剤師，看護師，栄養士，理学療法士の参加がありました．「多職種で係わる糖尿病療養指導の実際」や「他地域の中小病院内で薬剤師が実施している患者指導の実例」「インスリンの使い方・保管方法の注意点」など医療スタッフがすぐに実践できるようなテーマを選びました．今回のテーマは「血糖パターンマネジメント・低血糖対処方法」とし，東北大学糖尿病代謝科の児玉慎二郎先生と糖尿病看護認定看護師の方を講師としてお招きして実施致しました．アンケートでは，ほとんどの参加者がとても参考になったと好評でした．

「薬剤師のための糖尿病療養指導研修会」の今後の課題

本研修会は，CDEJ からの情報発信，多職種交流，糖尿病療養指導に精通した薬剤師の養成も大きな目的になっています．今年のアンケートでも実践的な内容で年に数回の開催を望む声も多く，今後，内容や開催回数を検討していく必要があると考えました．また，専門医のいない病院・医院がほとんどの地域の中で保険薬局や病院内の薬剤師の糖尿病療養指導の役割は重要になってきています．研修会の開催を契機として多職種が連携して病院・医院・薬局の枠をこえて地域全体で糖尿病の重症化予防に取り組んでいければと考えています．